

第3回あいち 小児在宅医療 研究会

2014
12/7日
13:30~17:00

名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟3階講堂

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
(公共交通機関でお越し下さい)裏面地図参照

主催 愛知県心身障害者コロニー
名古屋大学医学部障害児(者)医療学寄附講座

後援 愛知県医師会・愛知県小児科医会・愛知県在宅療養支援診療所連絡会
愛知県歯科医師会・愛知県看護協会・愛知県歯科衛生士会
愛知県訪問看護ステーション連絡協議会

参加費 無料

定員 300名様
(先着順)

定員の参加を心よりお待ちしております

愛知県内の小児期発症の障害児(者)の在宅医療体制の拡充を図るため、小児在宅医療の関係者が一堂に会したあいち小児在宅医療研究会を平成24年11月に立ち上げ、昨年の第2回は平成25年11月24日に「ライフステージを通じた医療連携」をテーマとして開催をしました。また、平成26年3月8日に開催された第1回あいち小児在宅医療事例検討会では、事例を通して具体的な小児在宅支援のあり方を学びました。回を重ね繰り返し、医療・看護・保健・福祉・教育・行政関係者が顔を合わせ情報を共有することにより、相互に理解を深めて顔の見える連携が構築されつつあります。

第3回あいち小児在宅医療研究会は、「小児在宅に必要な支援体制を考える」をテーマとして、在宅移行した後の本人家族支援に欠かせないレスパイトや福祉と医療の連携を中心に考えて行きたいと思えます。基調講演では、日本の重症心身障害児者医療福祉に深く関わってこられた旭川荘理事長の末光茂先生に、小児在宅を支えるために我々が何をすべきかについてご講演いただきます。

ぜひ多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

愛知県心身障害者コロニー総長
安藤 久實

名古屋大学医学部障害児(者)医療学寄附講座教授
三浦 清邦

PROGRAM

テーマ：小児在宅に必要な支援体制を考える

13:30~13:35 開会のあいさつ

安藤 久實 (愛知県心身障害者コロニー総長)

13:35~14:35 基調講演

重症心身障害『地域包括ケア』の愛知モデルへの期待 ～後が先になるチャンス～

座長：麻生幸三郎 (愛知県心身障害者コロニーこぼと学園園長)

演者：末光 茂 (岡山市 社会福祉法人 旭川荘 理事長)

14:45~16:55 シンポジウム

愛知県のレスパイトの現状と課題

座長：三浦 清邦 (名古屋大学大学院医学系研究科
障害児(者)医療学寄附講座教授)

丸山 幸一 (愛知県心身障害者コロニー中央病院 小児神経科)

1 重症心身障害児を対象にした児童デイサービス

演者：鈴木 由夫 (名古屋市 特定非営利活動法人ふれ愛名古屋理事長)

2 重症心身障害児(者)の日中一時支援サービスの 歩みとこれから

演者：藤村 淳子 (名古屋市 (医)あいち診療会 常務理事)

3 小児在宅医療を支えるための地域の中核病院の役割

演者：水野美穂子 (名古屋市 大同病院副院長 小児科)

4 コロニー中央病院における取り組み

演者：伊藤 一美 (愛知県心身障害者コロニー中央病院 看護部)

16:55~17:00 閉会のあいさつ

飯尾 賢治 (愛知県心身障害者コロニー中央病院院長)

お問い合わせ
(事務局)

愛知県心身障害者コロニー 運用部総務課総務グループ

〒480-0392 愛知県春日井市神屋町713-8 TEL(0568)88-0811 内線(2231) FAX(0568)88-0839

FAX

出席のお申込は、FAXでお願いいたします。

FAX: 0568-88-0839

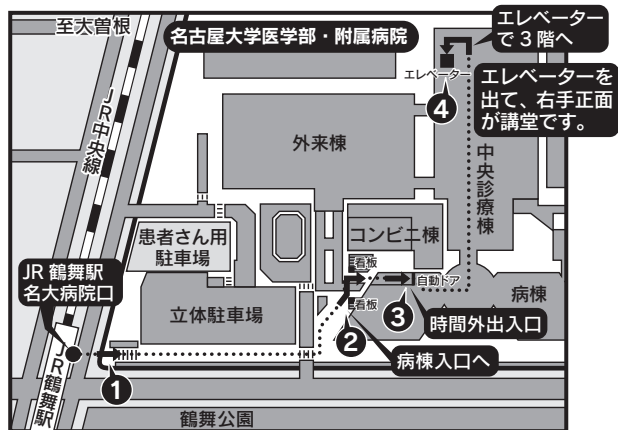
(運用部：松岡・土井／締め切り：平成26年10月17日(金))

第3回 あいち小児在宅医療研究会 出席申込書

貴施設名			
貴施設所在地	〒 -		
貴施設TEL	() -	貴施設FAX	() -
出席者名	1	(職種：)	
	2	(職種：)	
	3	(職種：)	
	4	(職種：)	
	5	(職種：)	
	6	(職種：)	

ご連絡事項	★研修の受講にあたり車イス等特別な対応を必要とする場合はご記入ください。

■会場のご案内
名古屋大学病院 中央診療棟 3F 講堂
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地



次回から本研究会の案内がご不要の場合は、貴施設名をご記入の上、下記に○で囲んでファックスでご回答ください。送付を遠慮させていただきます。

- JR中央線・鶴舞駅(名大病院口側)下車 徒歩3分
- 地下鉄(鶴舞線)鶴舞駅下車 徒歩8分

次回から、この講習会の案内の送付は不要です。